Creative Enzymes®

ヒト由来のS-メチル-5'-チオアデノシンホスホリラーゼ、組換え品

Cat. No. NATE-0462

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	MTAP発現は、メチオニン回収□路におけるポリアミン生合成の副産物であるメチルチオアデノシンの分解において重要です。タンパク質の発現は、ホモ接合体欠失およびプロモーターの過剰メチル化によって減少します。
用途	S-メチル-5′-チオアデノシンホスホリラーゼヒト（MTAP）は、がん研究に使用される酵素であり、多くの種類のがんで欠損しています。MTAPの発現低下は、消化管間質腫瘍の病気進行の潜在的な指標として使用される可能性があります。MTAPは、MTAPの不活化が肝細胞癌（HCC）の発生および浸潤性に関連しているため、肝細胞癌（HCC）の潜在的な治療□略を開発するために使用される可能性があります。
別名	S-メチル-5'-チオアデノシンホスホリラーゼ; EC 2.4.2.28; 5'-デオキシ-5'-メチルチオアデノシンホスホリラーゼ; MTAホスホリラーゼ; MeSAdoホスホリラーゼ; MeSAdo/Adoホスホリラーゼ; メチルチオアデノシンホスホリラーゼ; メチルチオアデノシンヌクレオシドホスホリラーゼ; 5'-メチルチオアデノシン:リン酸メチルチオ-D-リボシル-トランスフェラーゼ; S-メチル-5'-チオアデノシンホスホリラーゼ; S-メチル-5'-チオアデノシン:リン酸 S-メチル-5'-チオ-α-D-リボシル-トランスフェラーゼ; MTAP

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
形態	25 mM Tris-HCl、pH 8.0、100 mM NaCl、0.05% Tween-20、10% グリセロール、3 mM DTTの溶液として供給されます。
EC番号	EC 2.4.2.28
CAS登□番号	61970-06-7
分子量	57 kDa

保管・発送情報

保存方法	−70°C